

2022年2月28日

第3回 TTPU セミナー「日本の鉄道システムの海外展開を考える」

東京大学公共政策大学院長 大橋弘

開会挨拶

本日は第3回 TTPU セミナー「日本の鉄道システムの海外展開を考える」に、会場及びオンラインで多くの皆様にご参加いただき誠にありがとうございます。私、東京大学公共政策大学院長の大橋弘と申します。主催者である交通・観光政策研究ユニットを代表して、皆様方に厚く御礼申し上げます。

大変ご多忙の中、本日のセミナーの基調講演とパネルディスカッションに御登壇頂く、

- ・ 国土交通省 国土交通審議官  
藤井 直樹 様、  
パネルディスカッションに御登壇頂く、
- ・ 東日本旅客鉄道株式会社 取締役会長  
富田 哲郎 様、
- ・ 政策研究大学院大学 客員教授・名誉教授  
森地 茂 様、
- ・ 独立行政法人国際協力機構 副理事長  
山田 順一 様、  
発表とパネルディスカッションのモデレーターを務める、
- ・ 一般社団法人国際高速鉄道協会理事長、東京大学公共政策大学院客員教授  
宿利 正史 様、

ご登壇の方々には改めましてこの場を借りて深くお礼を申し上げます。

本日、国土交通省と国際協力機構のご後援、国際高速鉄道協会と運輸総合研究所のご協力を頂いて、セミナーを開催させて頂いております。

この機会に、主催者である交通観光政策研究ユニット（TTPU）についてご紹介をさせて下さい。TTPU は、東京大学公共政策大学院が設立した 2004 年にほどなくして設立したユニットであり、公共政策大学院では最初の研究ユニットとして中核的な役割を果たして参っております。公共政策大学院は本学で最も留学生比率が高い部局でありまして、定員数の半分以上を占め、これまで累積で 60 か国以上の国々から学生を受け入れております。ビザがな

かなか下りない状況がコロナ禍で続き、2年間の就学期間中に大学に入れないまま、卒業をする学生が出始めており、大変心苦しい思いをしているのが現状になります。他方、社会人教育にも力を入れておりまして、昨年にはイノベーションガバナンス、この4月には経済安保に関するエクゼクティブコースも設置する準備をしております。

さて、TTPUですが、「国際交通政策」、「地域交通政策研究」、「観光政策概論」、「観光地域政策」といった授業を開講し、交通・運輸分野や観光分野に関する重要な政策課題について、その最新の実情等を講義及び、感染防止対策をしっかりとしたもとでの現地視察を通じて、多面的な議論を行いながら政策に関する考察を深められるよう、教育活動を行っております。私どもが政策立案や事業遂行の実務と最先端の教育・研究との架橋となるべく、活動を続けて参ることができましたのは、成田国際空港株式会社、日本空港ビルディング株式会社、東京国際空港ターミナル株式会社、空港施設株式会社、中部国際空港株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社、東京地下鉄株式会社、公益財団法人日本交通文化協会などによる手厚いご支援のおかげであり、関係の皆様方には、この場を借りて御礼申し上げます。

TTPUでは、授業と共に、従来から、その時々にはふさわしいテーマを取り上げた公開セミナーの開催を重視しており、今回は、日本の鉄道システムの海外展開をテーマといたします。

本年は日本の鉄道開業から150年を迎えます。わが国は、インフラシステムの海外展開を成長戦略の重要な柱の一つとして位置づけ、なかでも鉄道分野は日本の優れた技術と実績を背景に、大きな期待が寄せられているところでもあります。

新型コロナウイルス感染と経済活動の再興を両立させる道を各国が手探りで歩み始めるなか、人口減少と超高齢化が同時進行するわが国において、海外でのビジネスの重要性がこれまで以上に高まることが予想されます。他方で、大国の覇権競争での国際秩序をめぐる課題やデジタル化の進展、人口構成や富の偏在など、海外展開を考える上で様々な論点が浮上しています。

わが国における、これまでの組織やバリューチェーンのあり方を大胆に見直しながら、国際社会との一層の連携・協力のなかで、国益にかなう戦略的なインフラ展開が求められるようにも思われます。

本セミナーでは、わが国のこれまでの鉄道システムの海外展開の取組みを検証し、その国家的意義を問い直しながら、今後の「持続可能性のある質の高い発展」に貢献するわが国の鉄道システムの海外展開のあるべき姿について皆さんと考えていければと思います。

本日は、コロナウイルス感染予防対策を講じながら、会場とオンラインにて公開セミナーを開催する運びとなりました。鉄道に限らず幅広い分野から多くの方々がご参加を頂いていると承知しています。日本の鉄道システムの海外展開というテーマについて時間の許す限り、活発な意見交換が行われることを願っています。

ご参加いただいた皆様にとって有益な場となることを祈念いたしまして、簡単ではありますが、冒頭の挨拶とさせていただきます。

本日はお忙しい中ご参加いただき、誠に有難うございます。

以上